



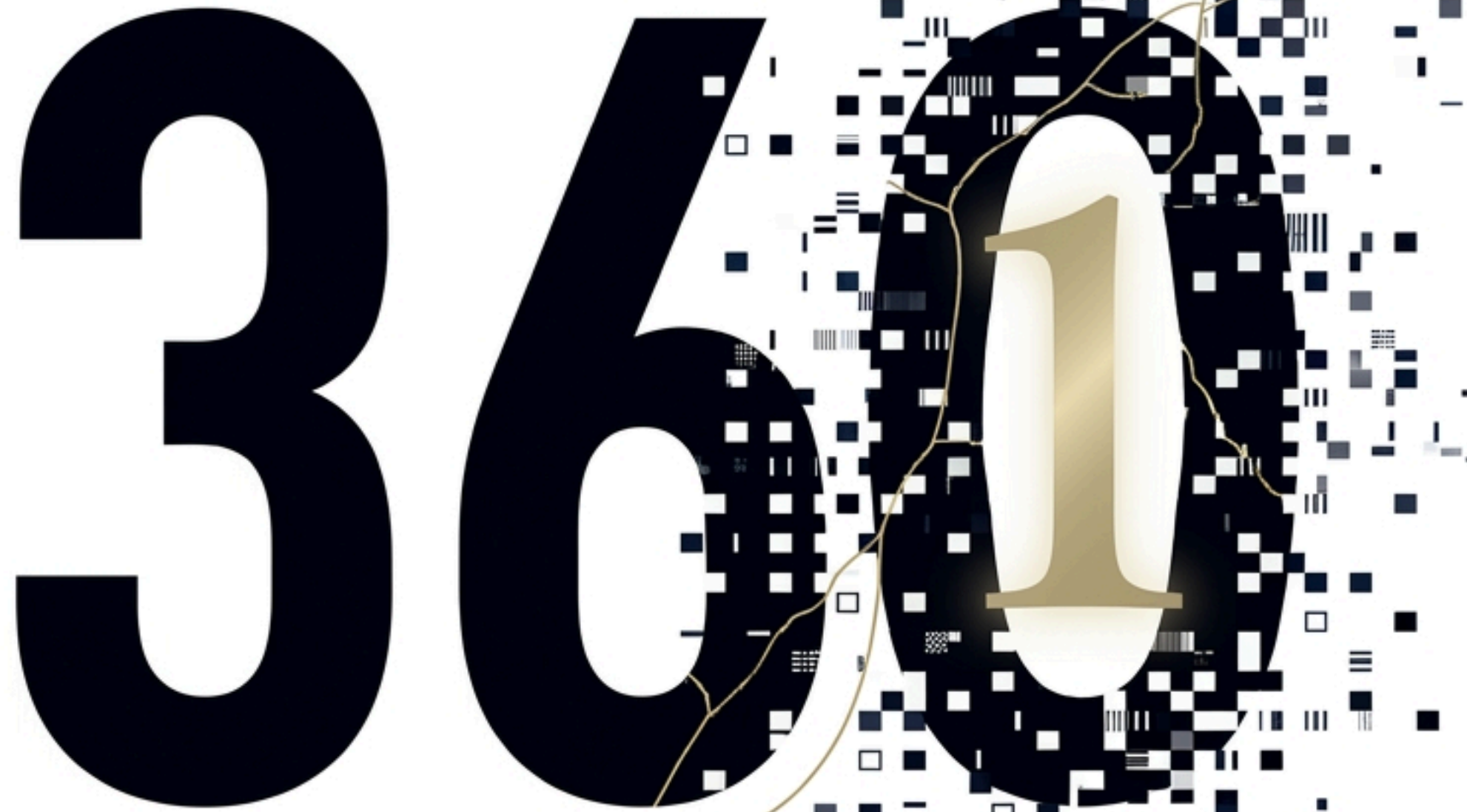
円とは、国力である。

TAOISM：円の始まりと、日本という価値

# 「日本円は1ドル360円 から始まった」

それは、歴史のほんの一部に過ぎない。

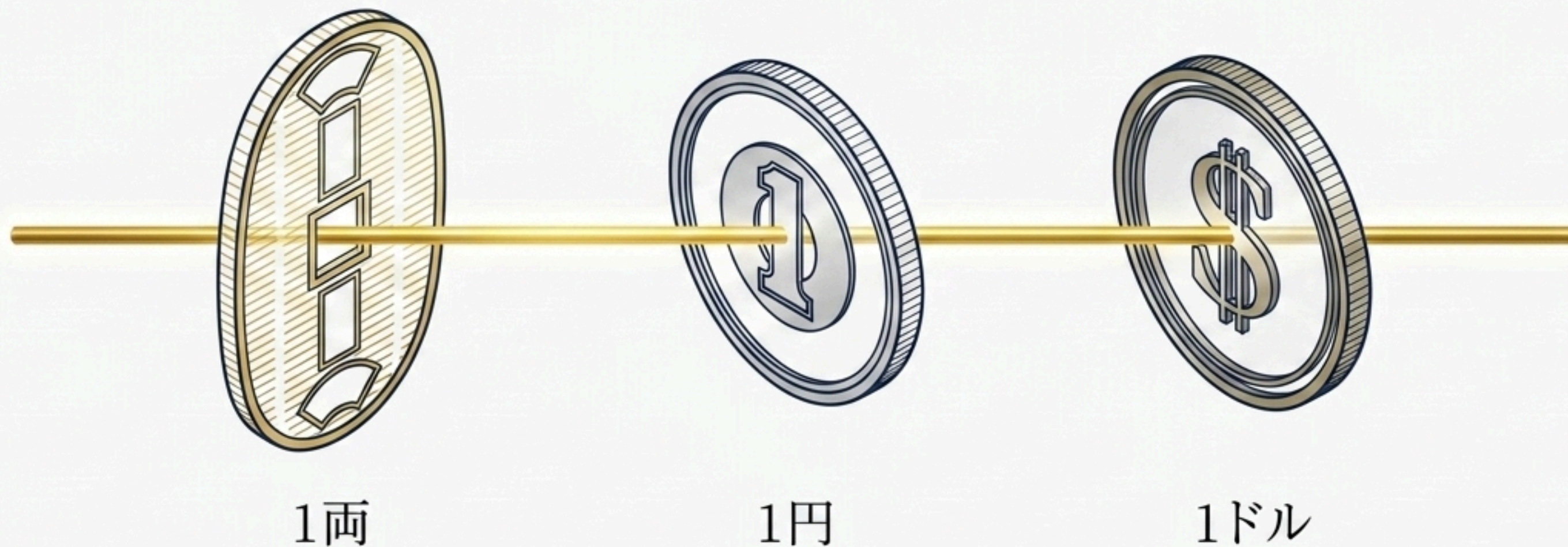
1949年、GHQによって定められた固定相場。  
それがすべての始まりではない。



1円 ≒ 1両 ≒ 1ドル

本来、日本の通貨は「金属そのもの」だった。

明治4年の新貨条例。円が誕生した時の価値感覚。



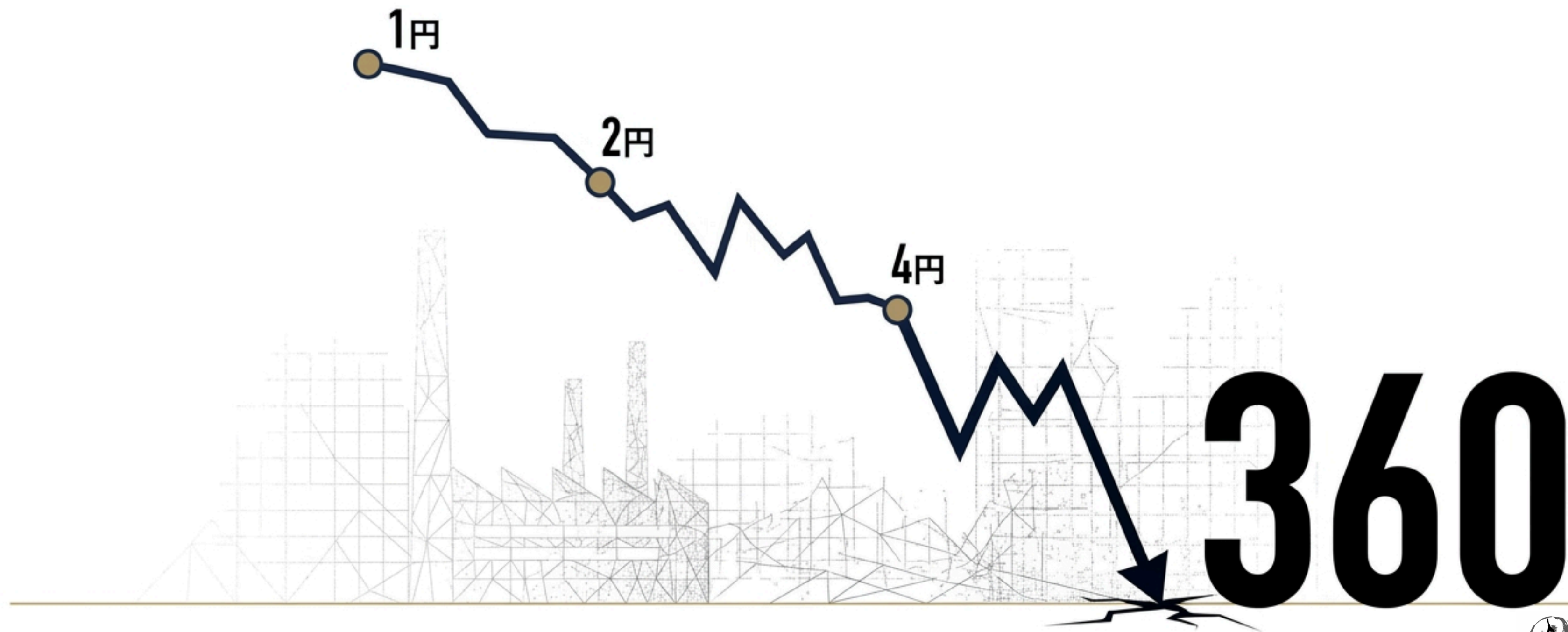
日本という「国」そのものに、  
価値があった。

ただの紙ではなく、国家の生産力と  
共同体の力が通貨を支えていた。



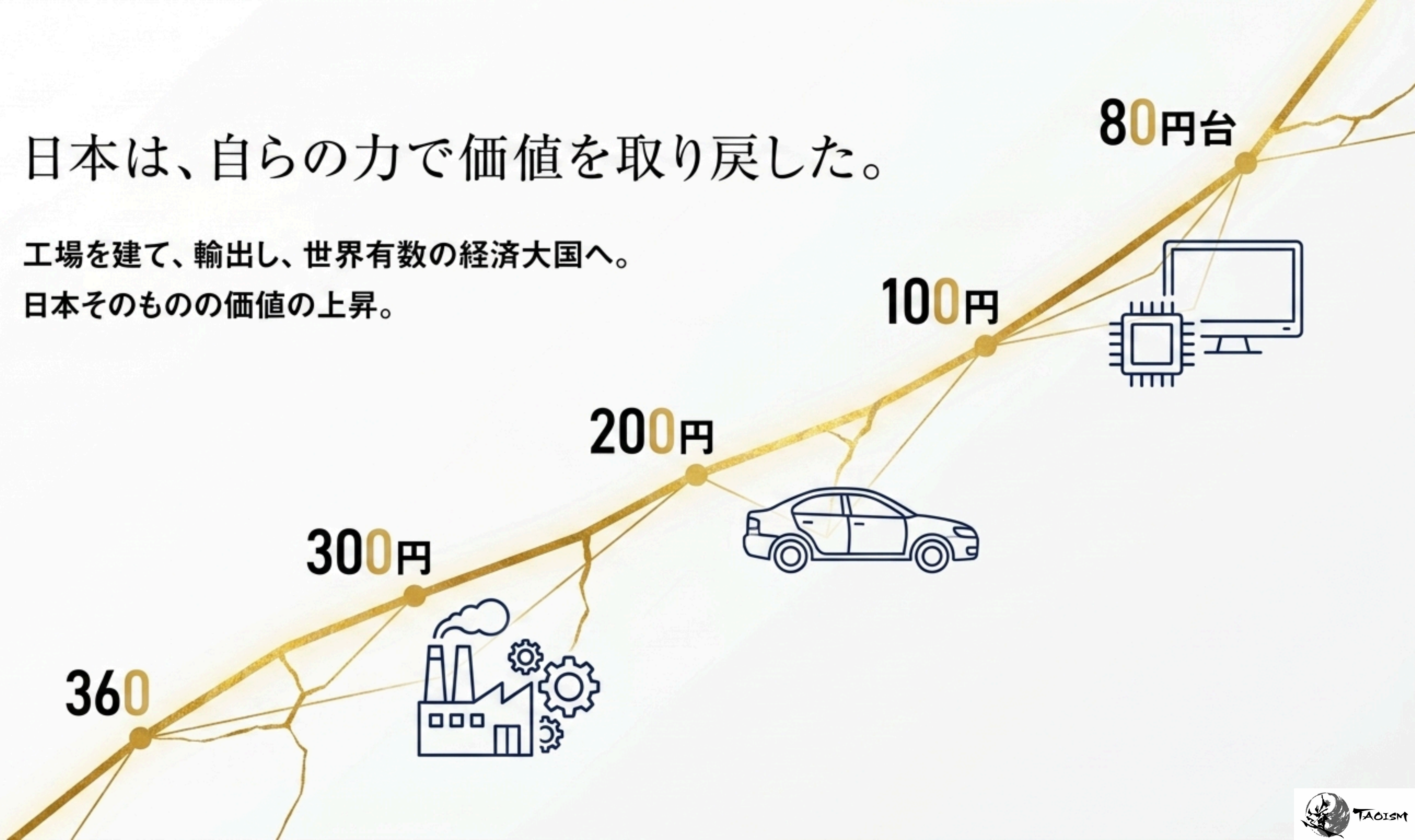
# 価値が359円分、削ぎ落とされた日。

焼け野原となり、生産力も信用も失った日本。1949年、360円での再出発。



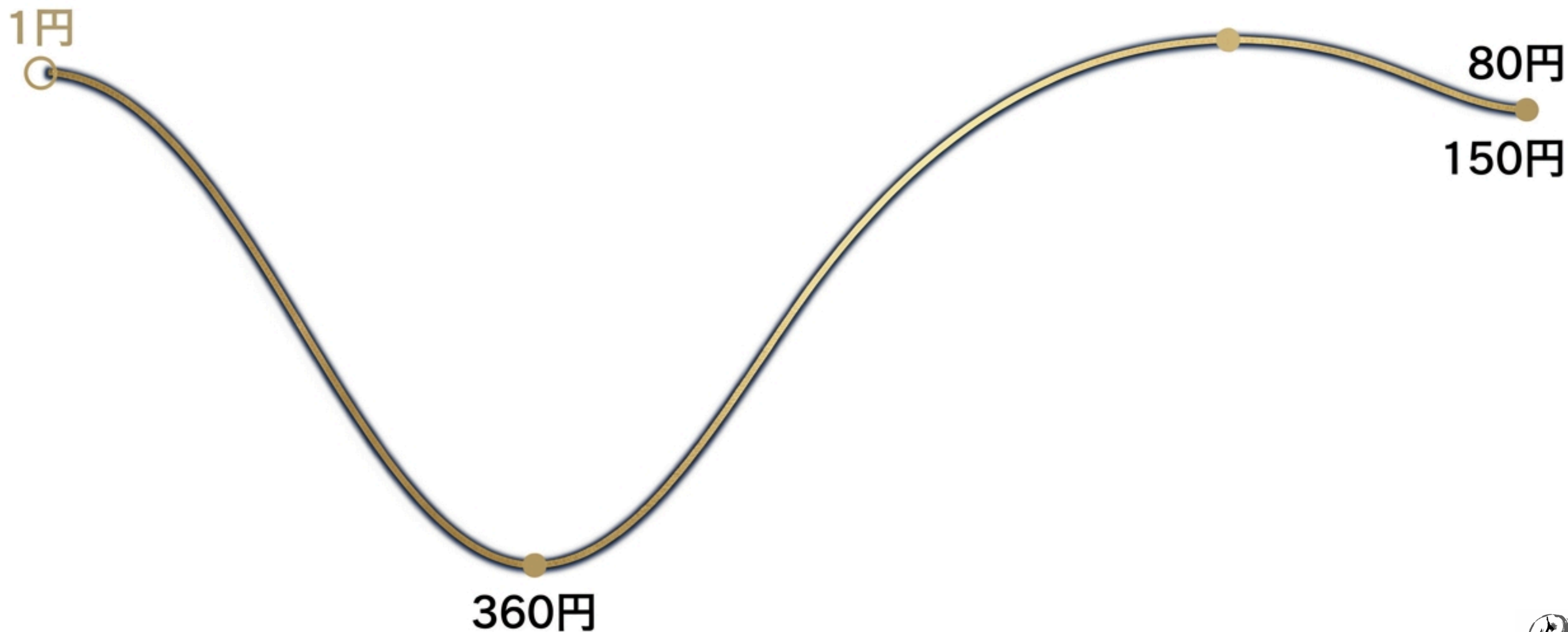
日本は、自らの力で価値を取り戻した。

工場を建て、輸出し、世界有数の経済大国へ。  
日本そのものの価値の上昇。



# 数字は、時代とともに姿を変える。

歴史の脈絡で見れば、今の位置は決してどん底ではない。

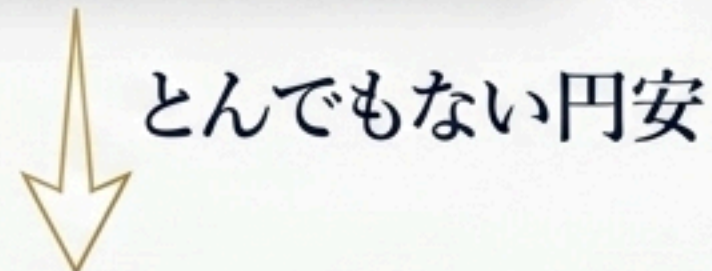


「円安」か「円高」かは、どの時代を基準にするかで変わる。  
「絶対的なものではない。」

360円を知る目  
まだまだ円高

80円を知る目  
とんでもない円安

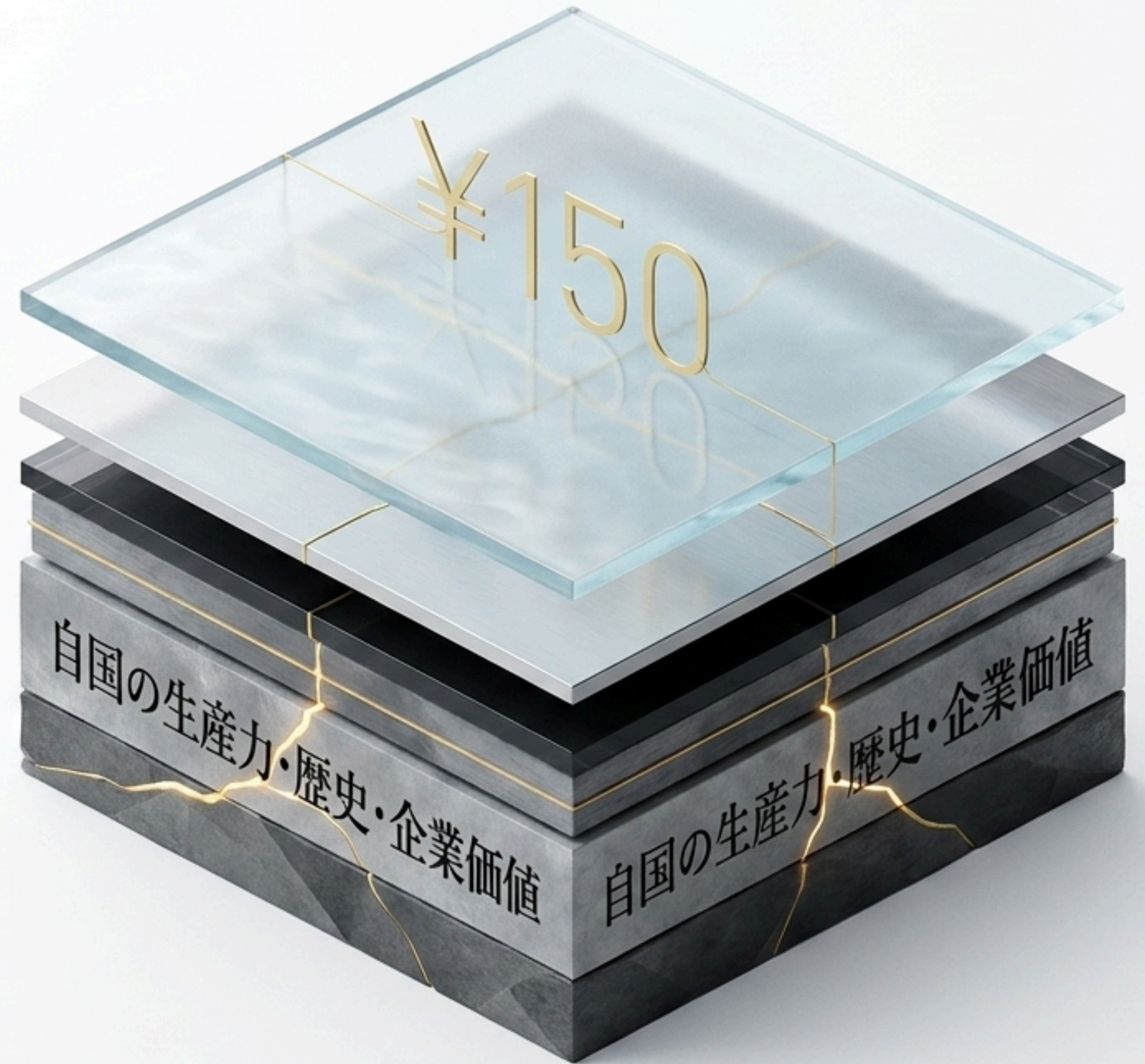
1円を知る目  
ずっと円安のまま



150円

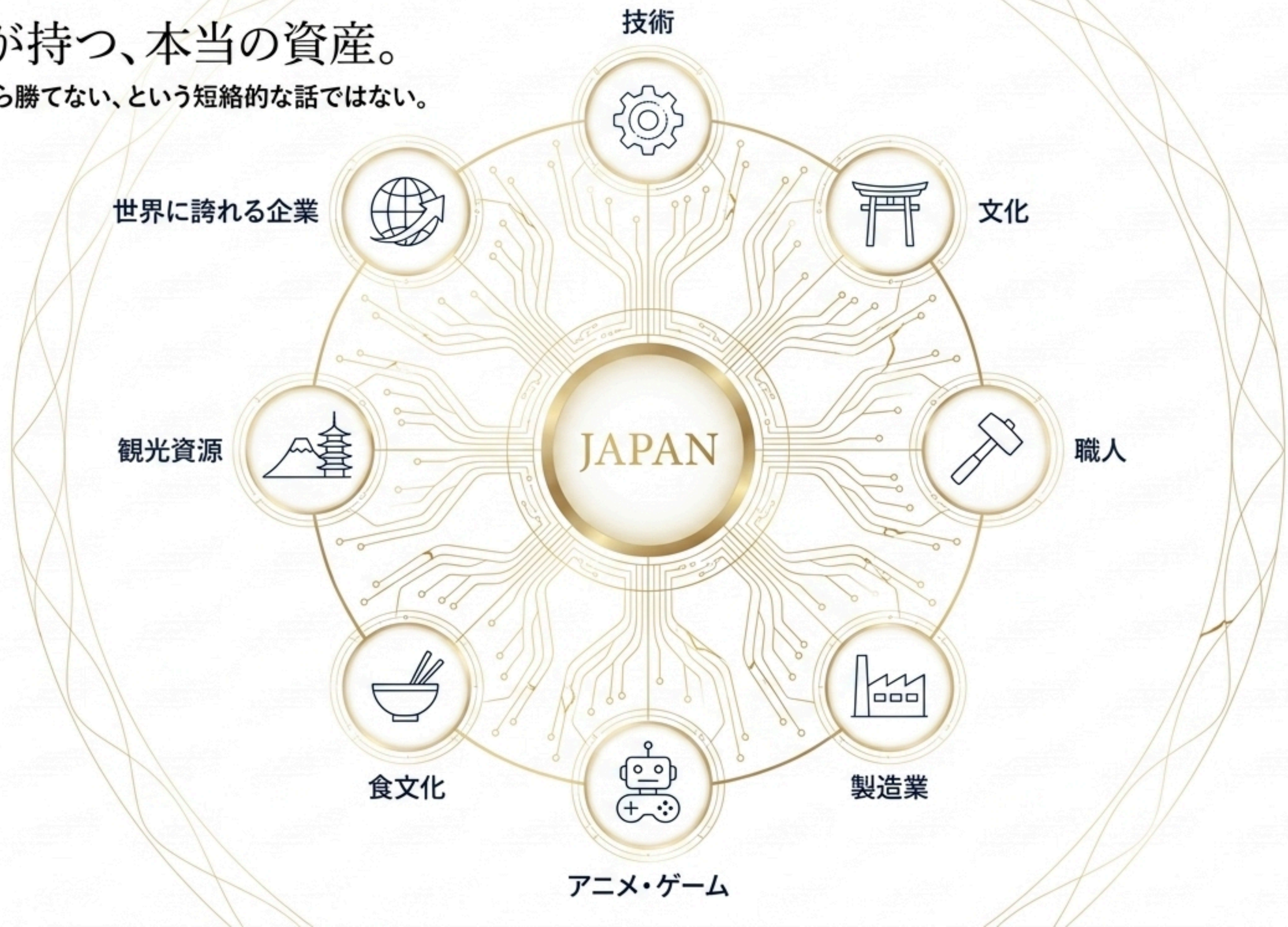


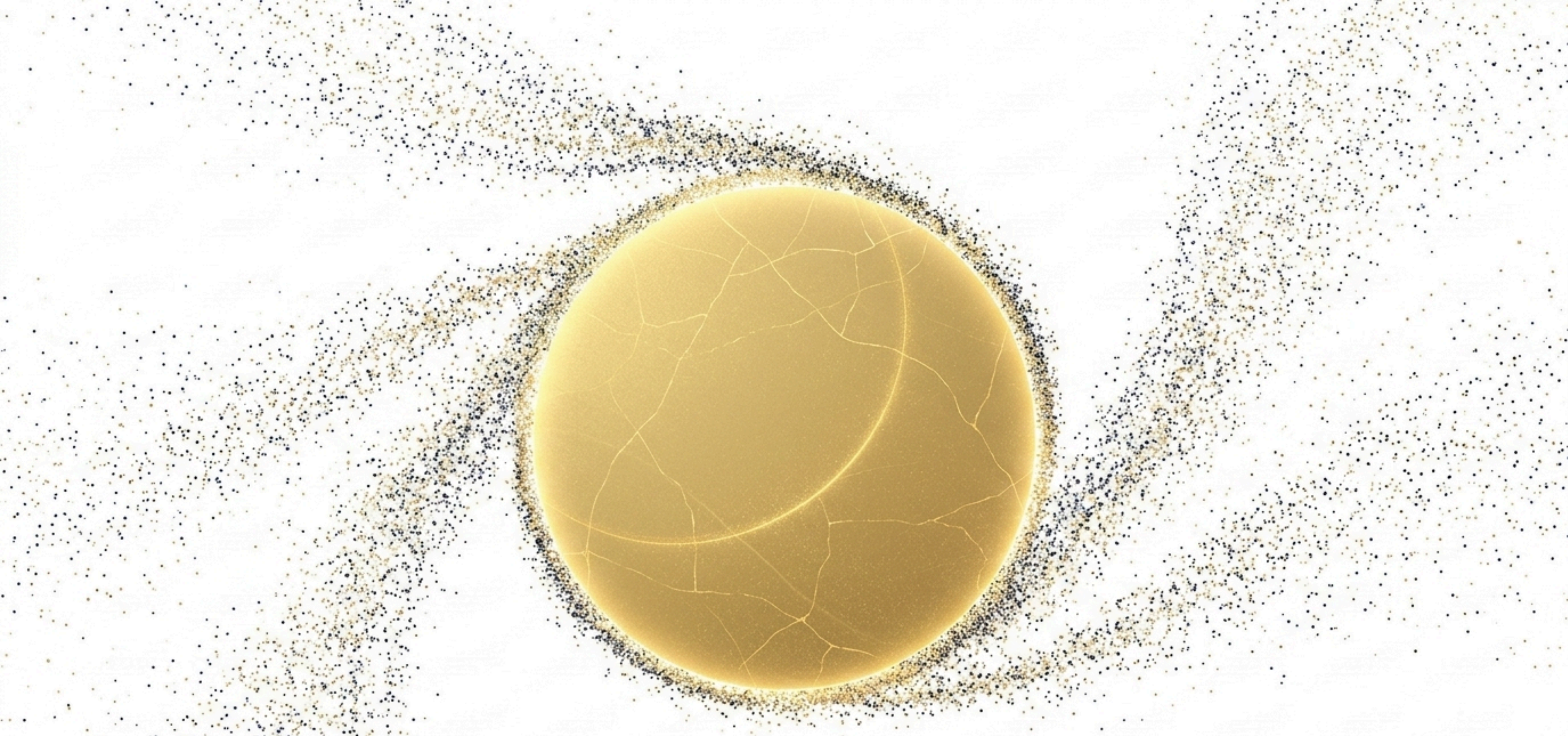
今の数字だけで悲観する必要はない。  
円の価値は、「国力」で決まる。



# 私たちが持つ、本当の資産。

ドルが強いから勝てない、という短絡的な話ではない。



A large, cracked golden sphere is the central focus, surrounded by a dense cloud of black and gold particles that radiate outwards. The sphere has a textured, cracked surface, and the particles are scattered in a circular pattern around it.

円とは、日本人一人ひとりの  
生産力と信用の証である。

弱っている時こそ、見捨てない。  
自国を理解し、信じて支える。

国外への分散投資も大切にしつつ、自国の企業や産業を応援する。  
それが、次世代に強い円を残す道となる。



円とは、ただの数字ではない。  
日本という国の、信用そのものである。